

# 飲水思源

町長

松岡市郎

## 竹内智香さん、「銀」メダルおめでとう

竹内智香さん、悲願のメダルおめでとう。スノーボード大回転パラレルは冬季スポーツ競技の中でも注目度が低い種目。ロシア・ソチオリンピックでの活躍で、注目度が今後持続して高まることを期待したい。

竹内選手と本町との関わりを知る人は少ないが、小学生の時、お父さんと一緒に毎日キトウシキャンモアスキー場に来ていた、と話している。ご両親は大雪山旭岳温泉で旅館「湧駒荘」を経営している。旅館エレベーターのポスターには「ソチに日の丸を」「竹内智香は湧駒荘の娘です」と書かれている。東川町とはこんなに深い縁がある。

前回の2010年カナダ・バンクーバーオリンピック直前、NHKのテレビドキュメンタリー番組で竹内選手を特集し、オリンピックにかける意気込みと人並み外れた努力ぶりを放送していた。

優勝経験ない竹内選手が頂点に立つたためには、男子並みの最高水準の技術とパワーを体得することと決断し、単身スイスの男子ナショナルチームに帯同する涙ぐましい努力の姿であった。言葉の壁に挑み、ヨーロッパアルプスの硬い雪質でスピードと技術を磨く練習を積んだ様子

などが映し出されていた。しかし、メダルを目指して頑張ったバンクーバー大会は、練習を積んで来た雪質とはまったく異なっており、雨でザクザクな雪だった。竹内選手はコース外のフェンスへと激突する結果に終わった。引退か継続か、散々悩んだことだろう。しかし「夢と希望」に向かう青春の心があったのだ。

表彰台の笑顔は雄大壮美な「大雪山旭岳の笑顔」、世界一素晴らしい旭岳の雪の結晶のように美しかった。家族や応援してくれる方々を思い、日本を思う気持ちが伝わってきた。競技と言動を通じて国民は銀メダル以上のものを感じ取ったことだろう。

ソチ大会の直前、お母さまが応援の寄せ書きを持って小職のもとへ来られた。「応援のメッセージを書いてください」と言う。何を書こうかと悩み、「全力滑走！」と書かせていただいたことを思い返した。

スノーボードを始めてから銀メダルの栄誉まで、「全力で滑り、走り続けた」20年間のお話を、次代の子どもたちに伝える機会を是非とも実現させたいものだ。ありがとう。

## 俳句

在所問う深雪の里の湯治客	石澤清宏
きさらぎや今まだ背中 <small>せなか</small> の丸うして	澤田久美子
少女はや恋のいろはよチョコを抱く	松山蓉子
一輪の水仙で待つ午後 <small>ごご</small> の客	三島智
深雪の底の鼓動を聴いたよう	若田郁
手のひらの雪の命に一行詩	本田咲
本気だよ孫に告白バレンタイン	山内みゆ
きさらぎや重き引き戸に難儀して	長谷川きみゑ
ソチへ向くスカイブルーのスキー帽	小林ろば
夫の笑みただそれだけのバレンタイン	高橋公花
如月に入りて気もちを明るうす	杉山ひろのり
鬼の面赤いクレヨン真っ二つ	保科なほ
如月や妻の和服の帯固し	徳光吐苦
如月に愛犬病に伏しにけり	杉山りつ
風呂敷やバレンタインの成果ゼロ	山口佐知子
バレンタイン義理チョコ二つ三つ四つ	横田則子
バレンタインチョコ持て余す夢を見し	若田久
思い出は何処へも行かぬ室の花	高瀬潤

